

# 《リハビリテーション科 1 月勉強会》

## 1 月の勉強会

- 7 日 部署別勉強会（急性期）発表者：作業療法士 蒲生玲香
- 14 日 症例発表（急性期）発表者：理学療法士 高橋樹李夜
- 21 日 部署別勉強会（事業所）発表者：理学療法士 石井麻美  
症例発表（急性期）発表者：理学療法士 大槻優花
- 22 日 症例発表（急性期）発表者：理学療法士 佐藤孝平
- 25 日 部署別勉強会（回復期）発表者：理学療法士 阿部 功  
症例発表（急性期）発表者：作業療法士 多田滉平  
発表者：作業療法士 菅野莉央
- 26 日 症例発表（急性期）発表者：理学療法士 四野見愛海
- 28 日 部署別勉強会（地域包括ケア病棟） 発表者：理学療法士 岩淵亜紀子

## 《勉強会の様子》

7 日：部署別勉強会（急性期） 【リバース型人工肩関節について】  
発表者：作業療法士 蒲生玲香



今回、リバース型人工肩関節置換術(RSA)後と全人工肩関節置換術(TSA)の違いや特徴を、文献からまとめ報告しました。RSA は TSA と比較して合併症の発生率が高いため、合併症に気をつけながら術前後のリハビリテーションを進めたいと思います。

14 日：症例発表（急性期）  
発表者：理学療法士 高橋樹李夜



新人症例報告にて、視床出血の患者さんについて発表しました。リハビリを進めていく中で、改めて評価・統合と解釈の重要性を学びました。また、セラピスト側の課題提示や介助方法を工夫することで患者さんの能力をより引き出すことができると感じました。

**21日：部署別勉強会（事業所）【生活期からの膝装具導入について】**

発表者：理学療法士 石井麻美



今回の症例発表では、発症から長期経過し過度な反張膝を呈した症例に対しての評価・治療・装具作成までの経緯をお伝えしました。生活期の方に対しての装具導入の難しさ、また装具不適合が長い期間経てもたらず影響を少しでも感じて頂き、これからの治療や補装具の選定に活かしていただければ幸いです。

**21日：症例発表（急性期）**

発表者：理学療法士 大槻優花



今回は誤嚥性肺炎を繰り返す症例を担当しました。初期評価と比較し呼吸機能の改善を得ることができました。歩行については、退院に向けた移動手段の獲得ができなかったことが課題であると感じました。今後は退院後のADLに繋がるような介入をしていきたいです。

**22日：症例発表（急性期）**

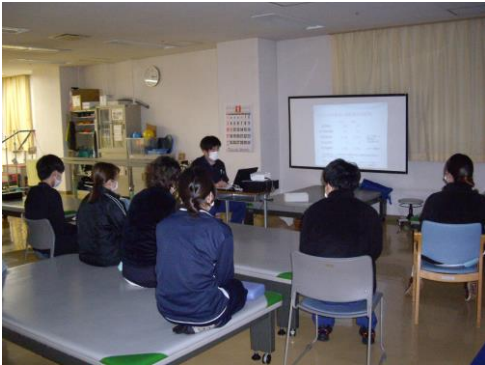
発表者：理学療法士 佐藤孝平



対象者と家族の希望を達成すべく、様々な評価項目から段階的に運動負荷を調整し活動性向上・QOL向上を図りました。複雑な生活背景、多発損傷の現病歴から問題点を列挙し、予後予測や今後必要となる対策と治療内容を述べ、それらについて先輩方とディスカッションを行いました。今回得た経験を今後携わる対象者の方々に還元させていきたいと思っています。

25日：部署別勉強会（回復期）【生活環境整備について】

発表者：理学療法士 阿部 功



生活環境整備について、理学療法士・作業療法士がどう専門性を発揮すればよいのかをお話ししました。具体的な動きの展開方法まで、皆さんの想像力が働いたようで有意義でした。

25日：症例発表（急性期）

発表者：作業療法士 多田 滉平



今回は心不全の症例について、自己管理の定着を目標にリハビリを行った過程を発表しました。先輩方から再発予防のための自己管理の難しさについて教わり、アドバイスをいただけたので、今後に活かしていきたいと思います。

25日：症例発表（急性期）

発表者：作業療法士 菅野 莉央



今回、橈骨遠位端骨折の症例発表を行いました。筋力強化練習での負荷量の決定に苦戦しましたが、先輩方からアドバイスを頂き、良い学びの場となりました。今後の治療にも今回学んだ事を活かしていきたいと思います。

26日：症例発表（急性期）

発表者：理学療法士 四野見愛海



今回は、短いリハビリ期間の中で治療の優先順位を考えながら関わらなければならない症例でした。その中で1つ1つの動作の介助方法や患者さんの動作について考察し、実施していけるようにしたいと思います。

28日：部署別勉強会（地域包括ケア病棟）【新型コロナウイルス対策について】

発表者：理学療法士 岩淵亜紀子



今回は新型コロナウイルスに対するリハビリテーション科の対応として、当院と他院を比較しながら検討・報告を行いました。寒冷地にある当院の問題点の1つは「換気」であり、まだまだ寒さが続く中でどのように換気を行っていくかがポイントになるという事を伝えました。